PART2　本動詞侍り・候ふ／3種類の聞こゆ

★本動詞の「侍り」と「候ふ」→「　　」か「　　」

「　　」＝あります・おります

（例）何の悔いか**はべら**む。

「　　」＝「　　」

※貴人に／貴人がいる場所に ＋ 侍り／候ふ ＝「　　」の本動詞

（例）後一条院の中宮に**侍り**ける出雲の御（ご）といふが…

問九　傍線部の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

「＊1悦は、＊2近衛殿（このゑどの）（応山公）に<u>侍りて</u>、筆法を学び奉りけり。」

＊1　悦＝本阿弥光悦（こうえつ）。安土桃山時代から江戸時代初期の書家・工芸家。
＊2　近衛殿＝江戸時代初期の公家・近衛信尋（のぶひろ）。後陽成（ごようぜい）天皇の皇子で、近衛家を継ぎ関白となる。優れた書を残す。

ア　取り入って　　イ　警護を任されて　　ウ　気に入られて
エ　お仕えして　　オ　期待されて

★3種類の「聞こゆ」

● 「　」の補助動詞

(例) 恋ひ**聞こゆ**。

● 「　」の敬語動詞（本動詞）

(例) 上〔＝帝〕に「かく」と**聞こゆれ**ば、…

● 普通動詞

① 聞こえる　(例) 箏の琴の音ほのぼの**聞こゆ**。

② うわさされる・世に知られる　(例) 人々は、世に**聞こゆる**ことどもて、…

③ 理解される・わけがわかる　(例) **聞こえ**ぬことども言ひつつ、…

〈Memo〉

第29講　PART2　確認問題

① 「侍り」「候ふ」に関する説明文の空欄a・bに入る語の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

本動詞の「侍り」「候ふ」は、[a]か丁寧語である。丁寧語では、「あります・おります」と訳す。「貴人に＋侍り〔候ふ〕」「貴人がいる場所に＋侍り〔候ふ〕」という文脈の場合は[a]で、「[b]」と訳す。

ア　a　尊敬語　b　いらっしゃる　　イ　a　尊敬語　b　お与えになる
ウ　a　謙譲語　b　お仕えする　　エ　a　謙譲語　b　差し上げる

② 傍線部は、この場合どのような意味に使われているか。最も適当なものを、次の中から選べ。

「北山になむ、なにがし寺(でら)といふところに、かしこき行(おこ)なひ人<u>侍る</u>。」

ア　いらっしゃる　　イ　参上する　　ウ　おります　　エ　いる

③　傍線部ア～エの中には、敬語の種類と意味が他と異なるものが一つ含まれている。その語として最も適当なものを、次の中から選べ。

「物語の多く候(ア)ふなる、ある限り見せ給へ。」
宮の御前近く候(イ)ひて、もの啓しなど、…
明くるまで月見ありくこと侍(ウ)りしに、…
徳大寺(とくだいじ)にもいかなるゆゑか侍(エ)りけん。

④　傍線部は、この場合どのような意味に使われているか。最も適当なものを、次の中から選べ。

御いらへもえ聞こえ給はず、まみなどもいとたゆげにて、…

ア　申し上げる　　イ　おっしゃる　　ウ　うわさされる　　エ　お聞きになる

⑤　傍線部に関する文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

かしこき御蔭(みかげ)をば、頼み聞こえ(a)ながら、…
琵琶(びは)の風香調(ふかうでう)ゆるるかに弾(ひ)き鳴らしたる、いといみじく聞こゆる(b)に、…

ア　aは尊敬の補助動詞、bは謙譲の補助動詞　　イ　aは尊敬の動詞、bは普通動詞
ウ　aは謙譲の動詞、bは謙譲の補助動詞　　エ　aは謙譲の補助動詞、bは普通動詞

第29講　PART2　解答

問九　エ

第29講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① 本動詞の「侍り」「候ふ」は、謙譲語か丁寧語である。「貴人に＋侍り〔候ふ〕」「貴人がいる場所に＋侍り〔候ふ〕」という文脈の場合は謙譲語で、「お仕えする」と訳す。よって、ウが正解。

② 「侍り」は謙譲語か丁寧語。上に係助詞「なむ」があるので、連体形「侍る」になっている。「貴人に＋侍り〔候ふ〕」「貴人がいる場所に＋侍り〔候ふ〕」という文脈ではないので、丁寧の本動詞。よって、ウが正解。

③ イは、「貴人がいる場所に＋侍り〔候ふ〕」という文脈なので、謙譲語「お仕えする」。ア・ウ・エは、丁寧語「あります」。よって、イが正解。

④ 補助動詞の型にあてはまらないので、本動詞「聞こゆ」である。謙譲語であれば、ア「申し上げる」。普通動詞であれば、ウ「うわさされる」。文脈からウは考えにくい。よって、アが正解。

⑤ aは動詞の連用形に付いているので、補助動詞「聞こゆ」である。補助動詞「聞こゆ」は謙譲語。bは補助動詞の型にあてはまらないので、本動詞「聞こゆ」。「琵琶を弾き鳴らす音が聞こえる」という文脈だと考えられるので、普通動詞。よって、エが正解。

〔解答〕

① ウ　② ウ　③ イ　④ ア　⑤ エ